

サービスの向上のための1年間の取組みを発表・表彰する研修企画です。

第12回ベストサービスアワード (最終選考会研修)

【ベストサービス賞】

養護老人ホーム 喜生園



【テーマ】

(祝) 開店！いきいきマーケットものがたり

【動機】 喜生園には以前から「よこびファーム」という活動を行っており、ご利用者主体で野菜の栽培を行っています。収穫した野菜は園内で食材としてご利用者の食事に提供したり、ロビーでご利用者、職員、利用者のご家族など向けにワゴンで販売しています。もっとご利用者が作った野菜をたくさんの人に食べて頂けないか…。そこで考えたのがこの「いきいきマーケット」です。園内だけでなく、地域に住まわれている方にも野菜を販売し交流を持つきっかけになればと考えました。

【取り組み内容】

活動がご利用者主体になるよう一緒になんでも行うということを第一に考えました。まず、販売準備として看板づくりや、収穫はもちろん袋詰めなどご利用者の特技を生かして行っています。販売する野菜の値段設定も出来があまり良くないともうちょっと安くしようか、などご利用者の厳しい指摘を聞いて設定しています。接客にもご利用者に参加していただき、料理方法を購入していただける方に伝授しながら売っていただいています。更に地域の障害者施設で開催しているフリーマーケットにも出店してご利用者と地域の方との交流を楽しんでいます。職員の業務以外の時間が増えてしまいましたが、ご利用者との会話を楽しんだり、ご利用者の生活歴が垣間見られご利用者と職員との見目が変わったりと信頼関係が深まっているように思います。地域の方からはどんな施設なのかと声をかけられたりと興味を持って頂くきっかけになっています。

【授賞式での評価コメント】

施設における農作業はどうしても職員主導になりがちである中、この取り組みは利用者主導である点、活動範囲を施設内のみならず地域を巻き込み地域に施設を認知してもらうきっかけとなった点が評価されました。また、この取り組みを通じて、野菜を販売することでの利用者の社会性を高める取組みである点も評価され、ベストサービス賞を受賞されました。